

DERMABOND® LINEUP



DERMABOND PRINEO® Skin Closure System (42cm)		一般医療機器 販売名:ダーマボンド プリネオ 届出番号:13B1X00204ME0010		
注文番号	容量・長さ/1セット	1パック内入数	1箱内入数	カバー長目安
CLR422US	アプリケーター容量 3.6mL	1本	2パック	40cm
	メッシュパッチ長さ 22cm	2枚		



DERMABOND PRINEO® Skin Closure System (22cm)		一般医療機器 販売名:ダーマボンド プリネオ 届出番号:13B1X00204ME0010		
注文番号	容量・長さ/1セット	1パック内入数	1箱内入数	カバー長目安
CLR222US	アプリケーター容量 3.6mL	1本	2パック	20cm
	メッシュパッチ長さ 22cm	1枚		



DERMABOND® ADVANCED TOPICAL SKIN ADHESIVE		一般医療機器 販売名:ダーマボンド アドバンスド 届出番号:13B1X00204ME0008		
注文番号	容量/1本	1パック内入数	1箱内入数	カバー長目安
ANX12	0.7mL	1本	12パック	15cm

*ダーマボンド®アドバンスドの使用法は、別途カタログまたは添付文書をご参照下さい。



DERMABOND® PROPEN TOPICAL SKIN ADHESIVE		一般医療機器 販売名:ダーマボンドHV 届出番号:13B1X00204ME0001		
注文番号	容量/1本	1パック内入数	1箱内入数	カバー長目安
APPXL6	0.75mL	1本	6パック	25cm

*ダーマボンド®プロペンの使用法は、別途添付文書をご参照下さい。



DERMABOND® MINI TOPICAL SKIN ADHESIVE		一般医療機器 販売名:ダーマボンドHV 届出番号:13B1X00204ME0001		
注文番号	容量/1本	1パック内入数	1箱内入数	カバー長目安
AHVM12	0.36mL	1本	12パック	4cm

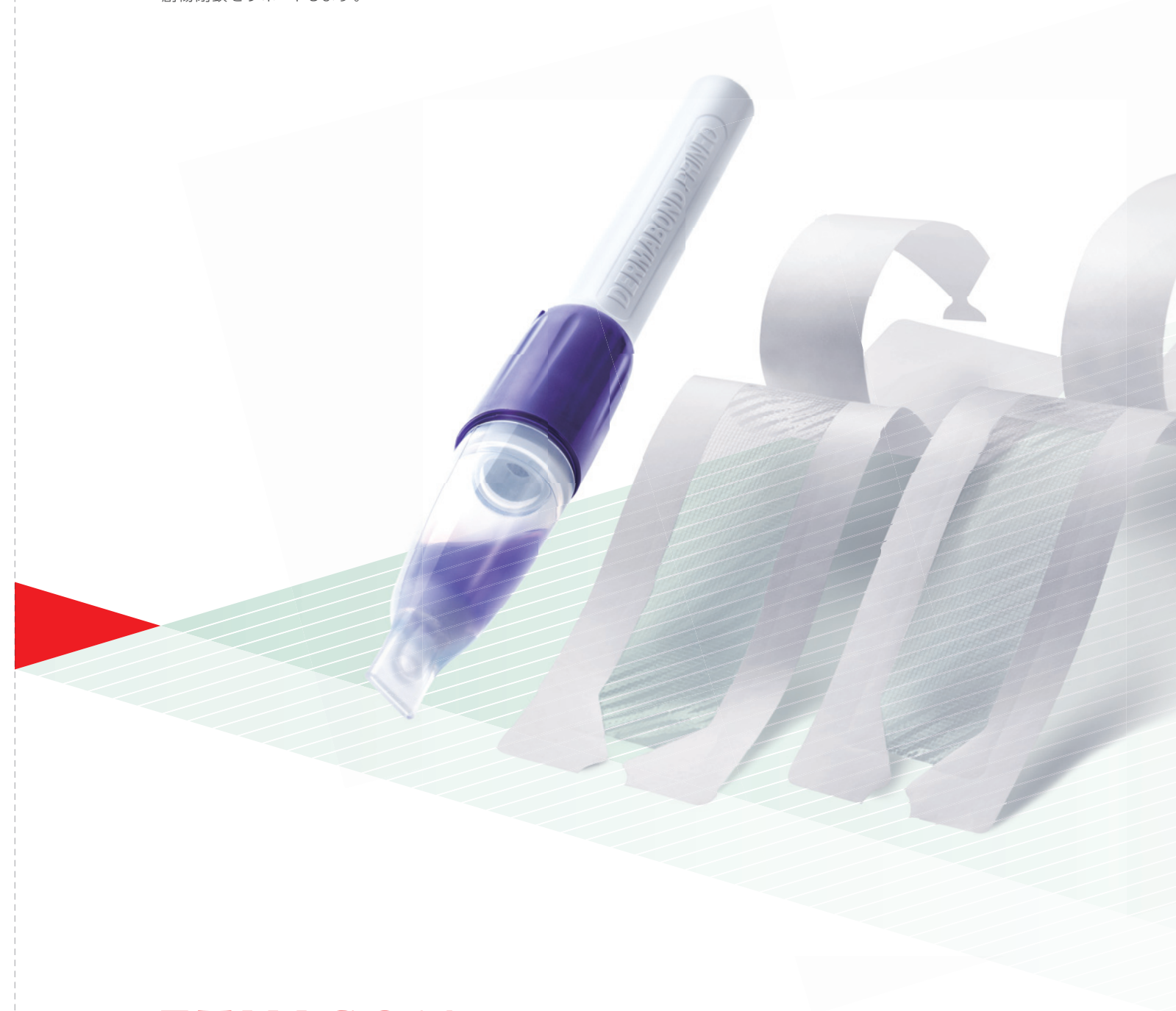
*ダーマボンド®ミニの使用法は、別途カタログまたは添付文書をご参照下さい。

DERMABOND PRINEO®

Skin Closure System

Dual Protection for Better Wound Closure

創縁のズレの防止と細菌の侵入を防ぐバリアー機能で創傷閉鎖をサポートします。



ETHICON

PART OF THE *Johnson & Johnson* FAMILY OF COMPANIES

製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー

本社・東京支店 / 〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号
TEL.03(4411)7211 FAX.03(4411)7205
札幌営業所 / 〒060-0005 北海道札幌市中央区北五条西6-2-2札幌センタービル19F
TEL.011(205)5111 FAX.011(205)5177
仙台営業所 / 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー 9F
TEL.022(213)8351 FAX.022(213)8353
横浜営業所 / 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-1-9 アリーナタワー12F
TEL.045(475)2821 FAX.045(475)2820

名古屋支店 / 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-20 名古屋三井ビルディング新館7F
TEL.052(563)5011 FAX.052(563)5010
大阪支店 / 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-5-1 御堂筋グランタワー20F
TEL.06(6258)6660 FAX.06(6258)6661
広島営業所 / 〒730-0022 広島県広島市中区銀山町3-1ひろしまハイビル21 9F
TEL.082(249)6711 FAX.082(249)6811
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-25-21博多駅前ビジネスセンター4F
TEL.092(441)3774 FAX.092(441)3772

091991-180518 | ESC00482

*製品改良のため予告なく仕様を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。


©J&J 2018

ETHICON

PART OF THE *Johnson & Johnson* FAMILY OF COMPANIES

For patients & For Medical workers

患者様・医療従事者様、双方の満足度向上を目指して

 For patients

傷跡が目立ちにくい
痛みからの解放

 For Medical workers

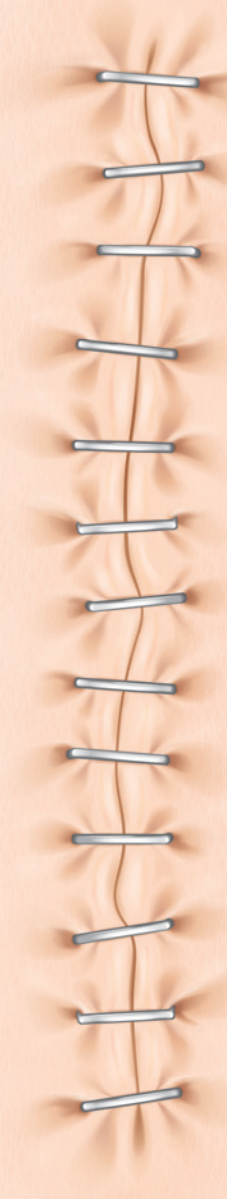
簡便な創管理
抜糸・抜鋼の手間を削減

 For patients & Medical workers

良好な創傷治療



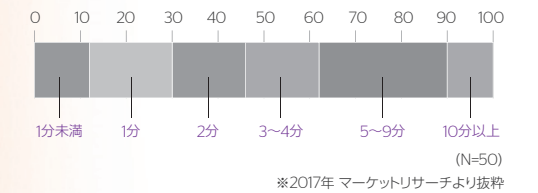
DERMABOND PRINEO®



STAPLES

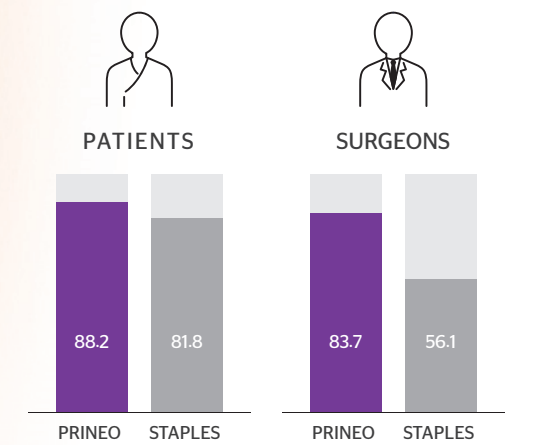
皮膚用ステイプラーにおける 1回の創処置に必要な時間(患者1人あたり)

皮膚用ステイプラーでは、術後のガーゼ交換などの創管理時間を含め、創処置に平均3.4分かかっています。ダーマボンドでは創管理が簡便なため、より短い時間で創処置が可能です。



皮膚閉鎖方法による全体的な満足感

Prineoを使用した患者と外科医は、ステイプラーよりも高い満足感を得ています。



※2017年 マーケットリサーチより抜粋

What's **DERMABOND PRINEO®**?

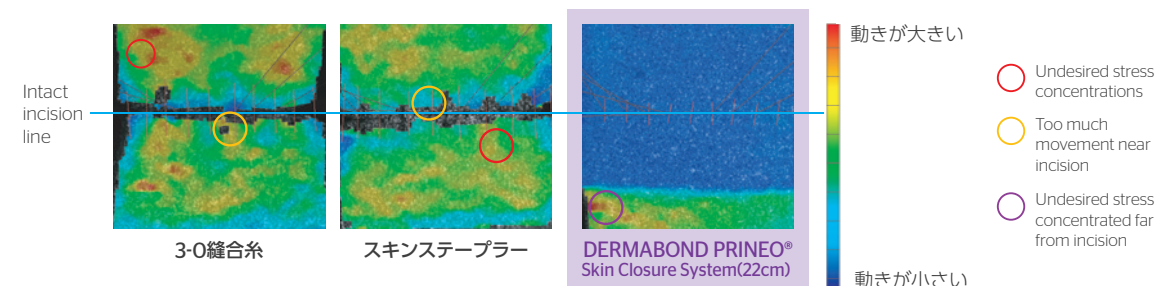
ダーマボンド プリネオ®は、創縁の密着をサポートするメッシュパッチと
ダーマボンド®液を塗布するためのアプリケーターで構成される皮膚閉鎖用デバイスです。
メッシュパッチで覆われた創部周辺の動きを抑制することで、創部への力を局在化させません。
形成されるフィルム層は、細菌等の物理的侵入リスクを低減し
より適切な創傷閉鎖をサポートします。

1 Wound Fixation

創部を面で固定し、創部周辺の動きを抑制

形成されたフィルム層が創部を面状に固定することで、
創部周辺にかかるテンションを局在化させずより均一に固定。

創部を面で固定 プリネオ®では創部周囲の動きが制限されていた。



社内実験データ:豚皮の創縁部を各デバイスを用いて閉鎖した後、合わせた創縁部が開くように1ポンド(453.6g相当)の力を加え、創縁部周囲の組織がどの程度動いたかをDigital Image Correlation(DIC)を用いて評価。ダーマボンド プリネオ®では創部周辺の動きが小さかったことを示しています。

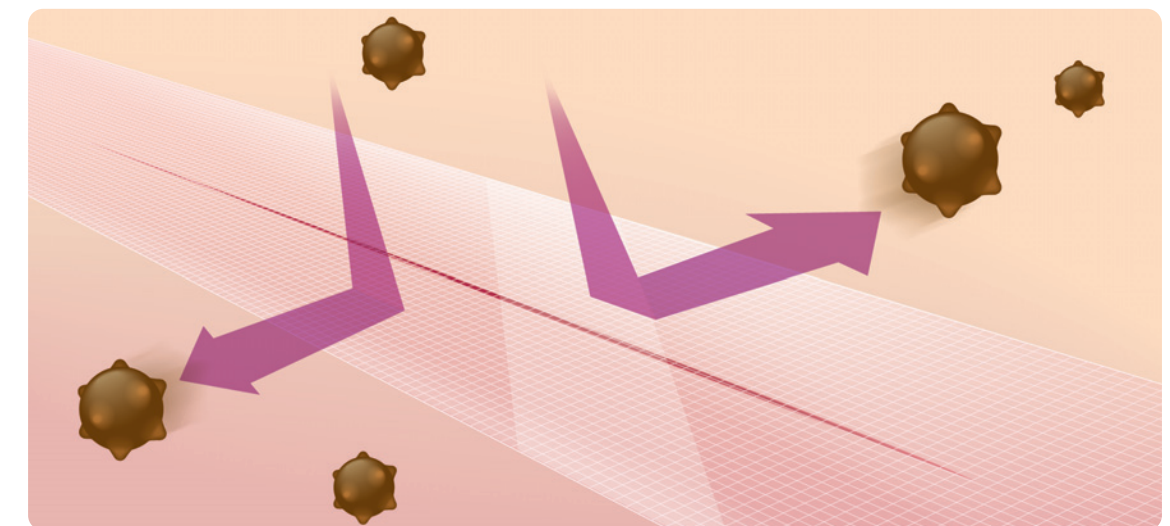
*出典: Data on File, Ethicon, Inc.: Report for mapping strains in DERMABOND® PRINEO® Skin Closure System 22 cm (DP22) Comparative Study.



2 Micro-barrier Protection

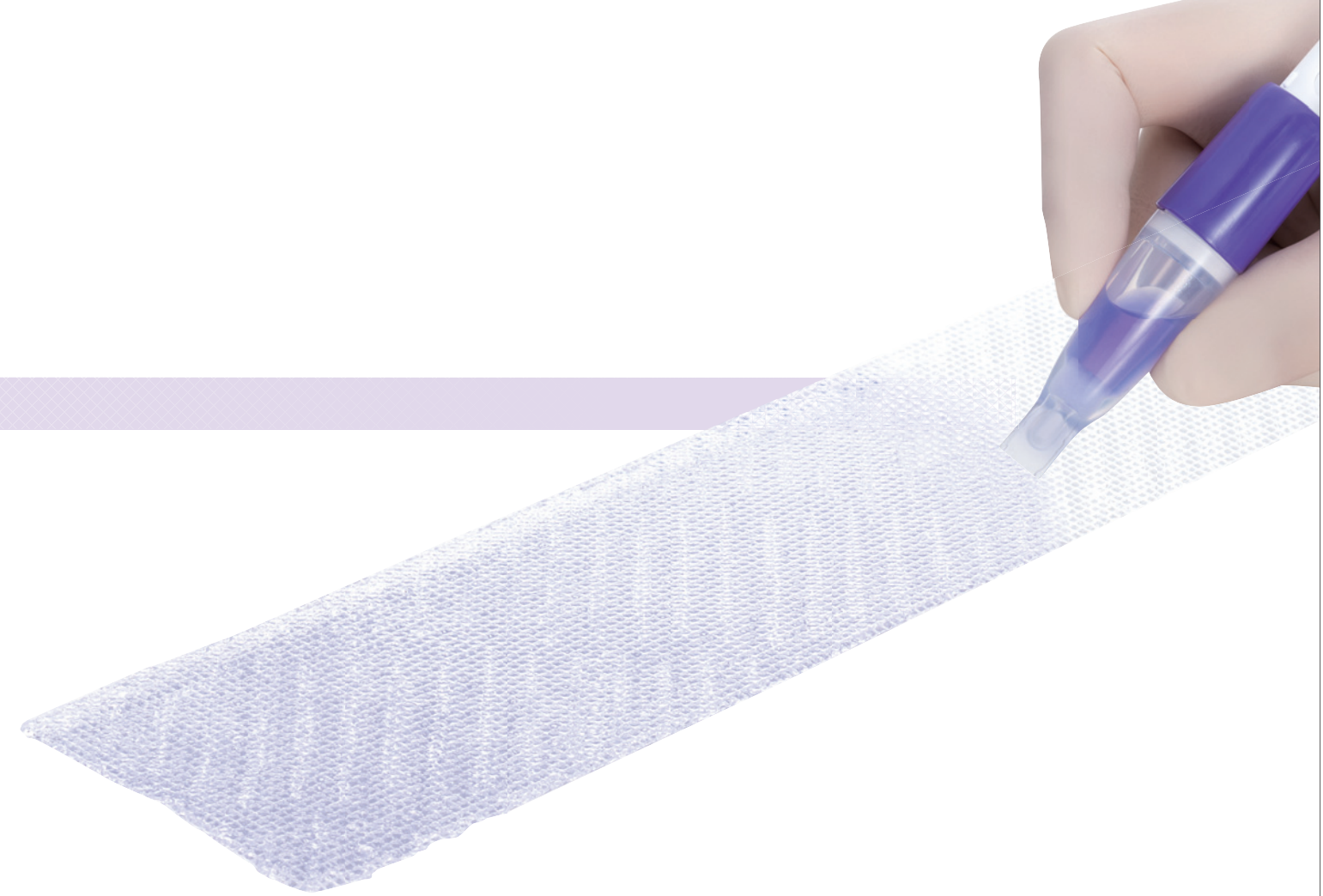
細菌の侵入を防いで創感染リスクを低減するバリアー機能

ダーマボンド プリネオ®は塗布後約60秒で重合が完了し、塗布創部表面に柔軟なフィルム層を形成。
フィルム層が創部をカバーすることによって、細菌などの侵入を物理的にシャットアウトします。



Skin Closure System

ダーマボンド プリネオ®は、皮膚閉鎖用デバイスシステムです。
メッシュパッチで創縁を密着保持させることによりダーマボンド®液が塗布しやすくなります。



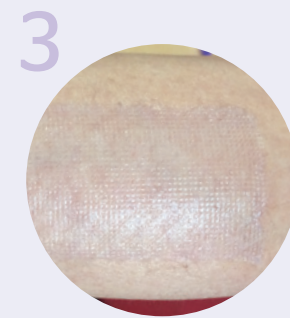
3つの特徴



柔軟性のあるメッシュ
パッチにより創縁の密
着をサポート

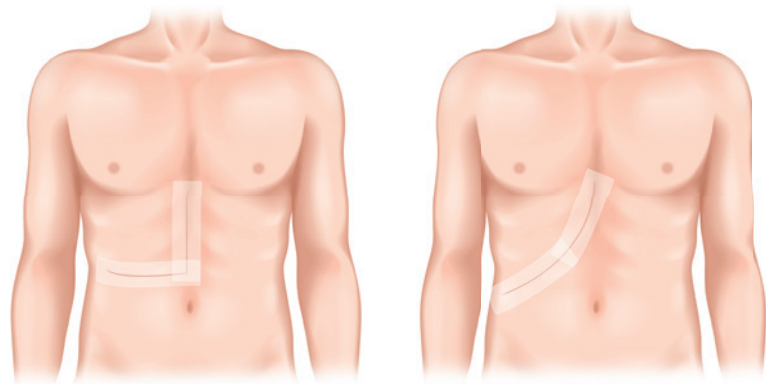


均一に塗りやすい先端
構造

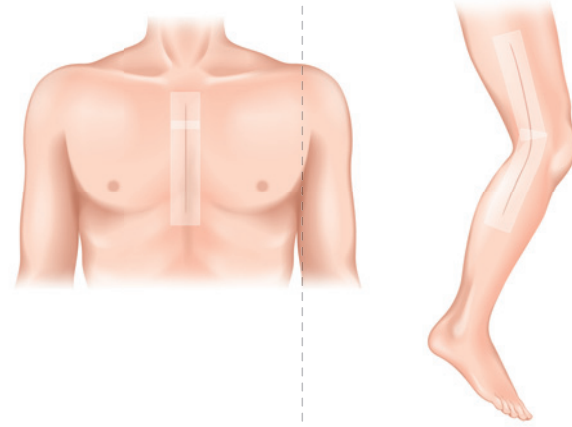


一層の塗布で、約60秒
で重合が完了

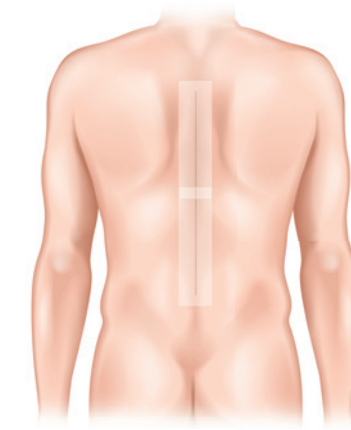
様々なシーンで幅広くご使用いただけます。



外科 肝切除

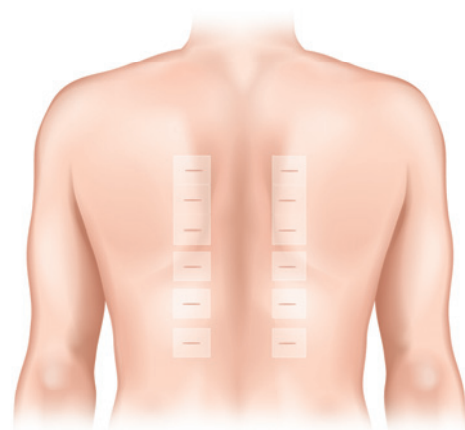


心臓血管外科 胸骨正中切開術と大伏在静脈採取部

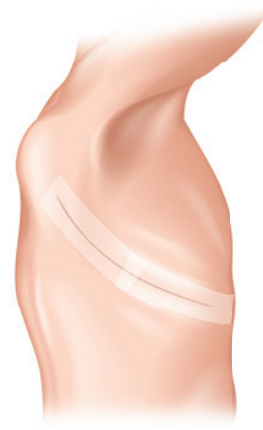


整形外科 脊椎側弯症、成人脊柱変形

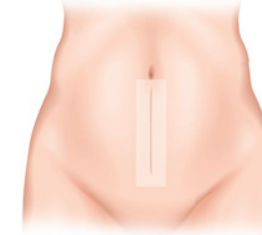
原寸



整形外科 経皮的多椎間脊椎固定術



呼吸器外科 肺葉切除



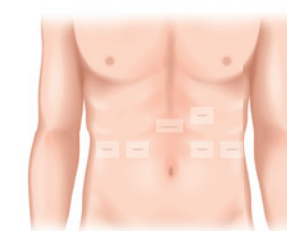
産婦人科
帝王切開術、
広汎子宮全摘術



整形外科
人工股関節置換術



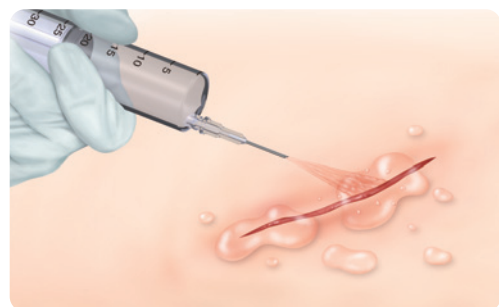
整形外科
人工膝関節置換術



泌尿器科
ロボット支援下
前立腺全摘出術

Preparations | 使用前の準備

適切な洗浄



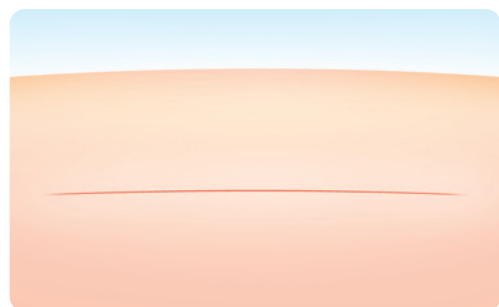
本品は、通常の外科的手技に従って洗浄され、壊死・挫滅組織が除去された創傷部位にのみ使用すること。適切な洗浄及び壊死・挫滅組織の除去を行うために、必要に応じて局所麻酔薬を使用すること。

水分の拭き取り



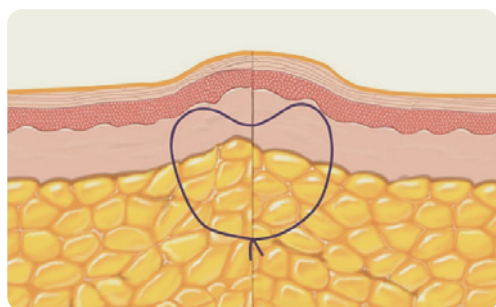
メッシュパッチおよびダーマボンド®液が直接皮膚に接着されるように、乾いたガーゼで余分な水分を拭き取ること。

密着した創傷辺縁部

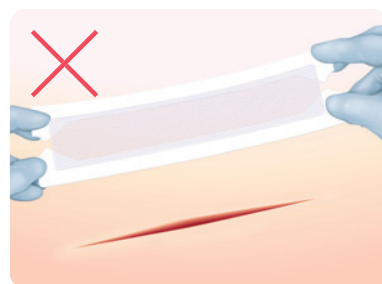


メッシュパッチ適用前において、創傷辺縁部が極力合わさるような状態にしておくこと。

真皮縫合 もしくは 皮下縫合



必要な場合、皮下または真皮縫合を行うこと。

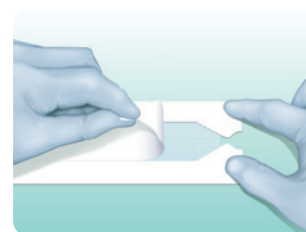


| 注意 |

創傷部が開いた状態で、メッシュパッチを貼付しないこと

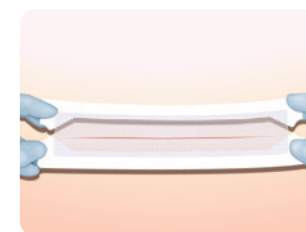
Directions for use | 使用方法 (メッシュ)

1



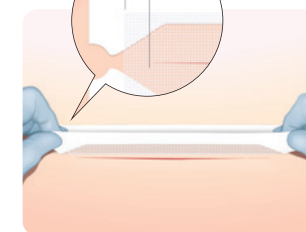
折り畳んであるメッシュパッチを開き、折り目を平らにしてメッシュパッチの中央部のリリースペーパーを取り除いてください。

2



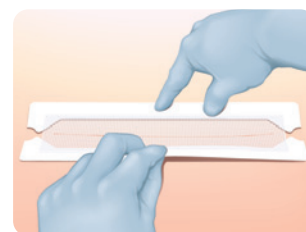
リリースペーパーの付いたメッシュパッチの端の部分を持ち、粘着面が患者創皮膚に向いていることを確認します。

3



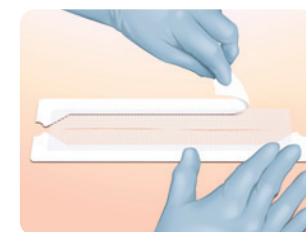
メッシュパッチの長軸方向の中央部を半分に折り、創傷縁部と合わさるよう位置を調整しメッシュパッチの片半面を創傷部の片側に粘着させます。
※この際、メッシュパッチの端が創傷端から1cm以上長くなるようにすること。

4



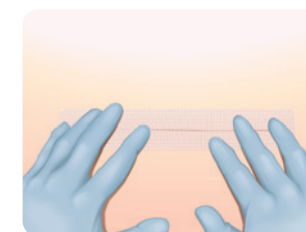
緩やかにメッシュパッチを引き上げ、創傷縁部に段差ができないように、手袋をつけた指または鉗子で粘着させます。メッシュパッチを残ったもう一方の創傷部に粘着します。

5



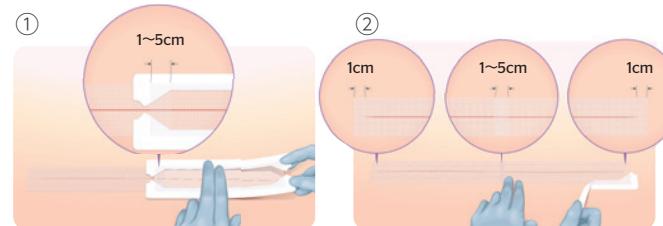
リリースペーパーを取り除きます。

6



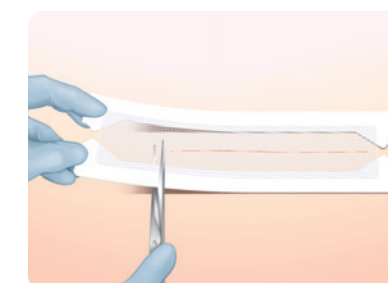
ダーマボンド®液の使用開始前にメッシュパッチが創傷部に粘着していることを確認してください。

7



【2枚目のメッシュパッチを貼付する場合】

1~6と同様の手順で2枚目のメッシュパッチを貼付する。このとき、1枚目のメッシュパッチと1~5cm程度重なるように貼付すること。(1) 必要に応じてメッシュパッチを裁断し、少なくともメッシュパッチの端が創傷端から1cm以上長くなるように注意すること(2)



| 注意 |

余分なメッシュパッチは切り取ること

Directions for use | 使用方法 (アプリーケーター)

1



メッシュパッチを貼付後、創傷部から離れた場所で直ちにアプリーケーターのダイヤルをパチンと音がするまで回転させます。

2



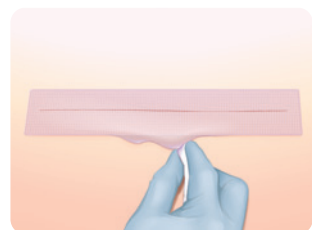
創傷部から離れた場所でアプリーケーターの先端を下に向けた状態で、先端部をつまみ開口部を閉じてください。バルブを一回押し潰し、押し潰した指をバルブから外すと、バルブがダーマボンド®液で満たされます。

3



メッシュパッチ全体に、ダーマボンド®液が一層で均一に、かつ全体に浸透するよう、柔軟なアプリーケーター先端部を用いて端から端へ塗布します。

4

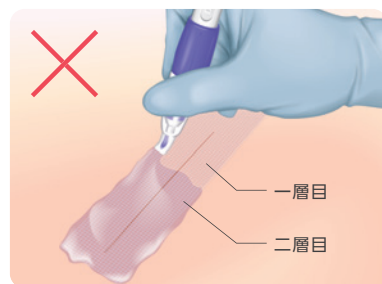


ダーマボンド®液がメッシュパッチから垂れた場合は、滅菌ガーゼで速やかに拭き取ります。なお、バルブの握り具合を調整することでダーマボンド®液の吐出量を調整することができます。

5



塗布を終えてから60秒後、用指にダーマボンド®液が重合し粘着性がないことを確認します。ダーマボンド®液が硬化し、粘着性が見られなくなったら、重合が完了です。重合が完了することで創部は接着されます。

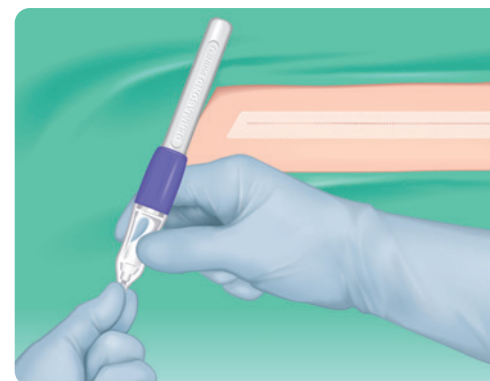


| 注意 |

二層目の塗布は行わないこと
(二層目に塗布したダーマボンド®液は重合しないため)

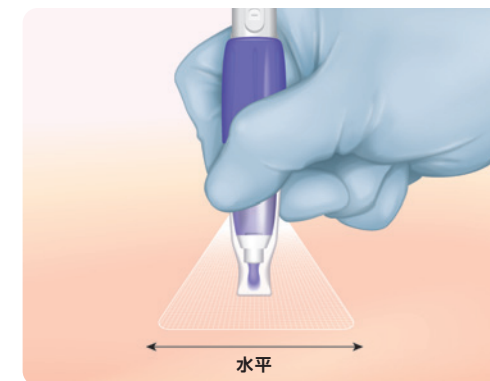
余ったダーマボンド®液の入ったアプリーケーターは破棄すること

その他の注意事項



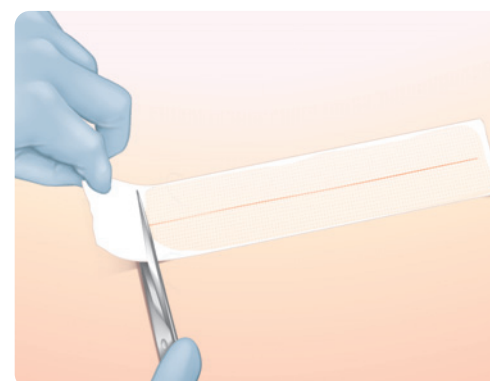
ダーマボンド®液を準備する時

バルブにダーマボンド®液を満たす際には、創傷部から離れた場所で行うこと。この際、アプリーケーターの先端を下に向けた状態で、先端部をつまみ開口部を閉じること。



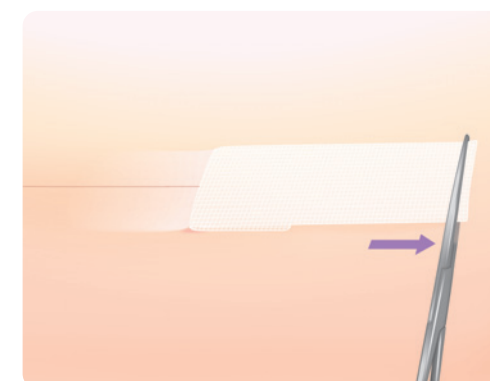
創傷部位を水平に

本品のダーマボンド®液は水よりもやや粘度を有する液体であるため、意図しない身体部分に流れないように、創傷部位を水平にすること。



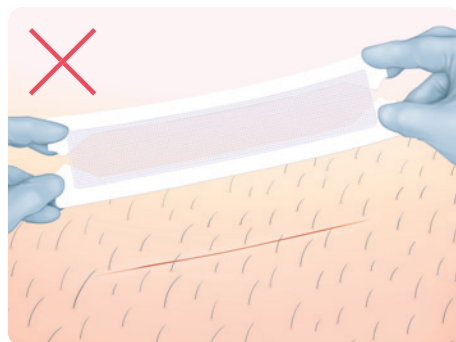
自然に剥がれた部分の除去

自然に剥がれた部分をハサミ等でカットして除去してください。

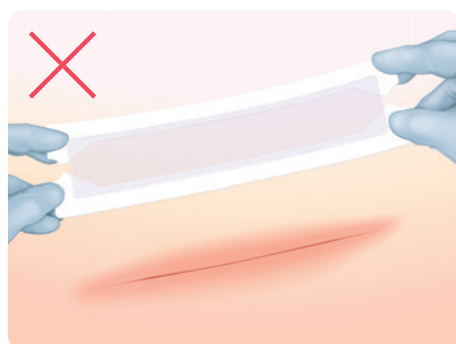


治癒後、除去する場合

創傷部に塗布したメッシュパッチの片側の端部をつかみ、創傷縁部に沿って、皮膚と平行になるように本品を愛護的に引張り、皮膚から剥がす。この際、メッシュパッチを皮膚に対して垂直方向に引っ張らないように注意すること。



毛髪が密集している皮膚(例えば除毛していない頭皮など)には使用しないこと。



明らかに汚染あるいは感染した創傷部位に使用しないこと。
壊疽や褥瘡部位には使用しないこと。

Q&A

Q1 皮膚アレルギーが心配です。

まれに皮膚接着剤使用後の接触皮膚炎が報告されています。テープや化粧品等でかぶれがある患者さんは皮膚炎がおこる可能性があります。異常が発生した際は、速やかに皮膚科医にご相談下さい。

原因や対処法等、詳しくは弊社発行の「皮膚表面接着剤、創傷被覆材等による皮膚炎について 発生の原因と対処法※1」をご覧ください。

参考文献) 関東裕美ほか、接触性皮膚炎—2005 臨床例ダーマボンドによる接触性皮膚炎症群。皮膚病診療27巻9号1035-1038、2005
※1: 監修 東邦大学 医療センター大森病院 スキンヘルスセンター長 皮膚科臨床教授 関東裕美

Q2 人体への影響は?

主成分である2-オクチルシアノアクリレートは、強い感作物質ではありません。アレルギー反応に関しては、個人差もありますので、添付文書に従ってご使用ください。

通常の接着剤よりも炭素チェーンが長いことから、毒性が低くなっているという報告があります。

参考文献) Quinn, JV Tissue adhesives in wound care. BC Decker 1998.5:34/

Q3 カバーする創の長さは?

メッシュパッチ1枚使用の場合、カバーする創の長さの目安は20cmまでです。
メッシュパッチ2枚使用の場合、カバーする創の長さの目安は40cmまでです。

Q4 塗布後、フィルムはどうなる?

フィルムは自然脱落します。

